

2021年3月25日

パナソニック松愛会  
会長 上田 勉 殿

パナソニックグループ労働組合連合会  
地域・社会貢献分野

## PGU 東日本大震災復興支援「追悼 絵灯籠の絵」ご協力の御礼

平素より、弊労連(以下 PGU)活動に対し、ご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年は、東日本大震災発生から 10 年が経過し、改めて、どのような災害だったのか、また、復興の状況や課題について目を向ける機会となりました。

PGU では、東日本大震災復興支援の取り組みの一つとして、PGU 東北地区連参画の「3. 11 ひとり・閑上追悼 イベント」で飾る「絵灯籠の絵」の募集を実施致しました。本年も、加盟組織や、OB 会をはじめとする協力団体の皆様からのご協力により、合計 2,241 枚もの心のこもった絵や文字が集まりました。改めて、ご協力に感謝申し上げます。

本年は、「追悼イベント」が開催され、ご協力いただきました「絵灯籠の絵」は、パナソニック仙台工場をはじめとして、名取市内に電子絵灯籠を 2,100 基設置いたしました。当日の様子について、PGU 東北地区連石山事務局長の報告をご紹介させていただき、御礼に代えさせていただきます。

### **【東北地区連 石山事務局長からの報告とお礼】**

昨日 3 月 11 日に追悼イベントを開催し、無事終了しましたことをご報告致します。

パナソニック関連のみなさまには、多くの絵を届けて頂きました事、心より感謝申し上げます。また、当日ご支援頂きましたみなさまには夜遅くまでのご支援に、心より御礼申し上げます。

昨年は、コロナ感染拡大に対応できずに開催を断念するという残念な結果となり犠牲者の鎮魂をすることが叶いませんでした。今年は実行委員会の中で、開催することを前提にどのように開催するかをしっかりと論議してきました。そのかいもあって、実行委員会としても一定程度の規模で開催することが出来たと実感しております。

内容としては、電子絵灯籠のみ設置ということでしたが、閑上メモリアル広場に 300 基、名取駅に 100 基、仙台空港に 300 基、パナソニック仙台工場に 1400 基（計 2100 基）を並べ、お亡くなりになられた方々の鎮魂を実施することが出来ました。

今年もコロナウイルス感染が収まらない中での開催とあって、ボランティアを募集せず、実行委員会メンバー（8 名）とパナソニック仙台拠点メンバー（28 名）のみで準備を行いました。朝 9 時からスタートし 15 時までに準備完了、撤収は 21 時迄かかりましたが、事故もなくすべて完了することが出来ました。昨年開催できなかった関係上、今年は昨年入れ替えた絵をそのまま飾らせて頂き、今

年全国各地から集まった絵については一部のみ入れ替えという対応となりました。そのことから今年集まった絵をすべて使用することが出来ませんでした。その絵については来年のイベントで使用させていただきます。今年パナソニックの皆様から頂いた絵はすべて使用させて頂いております。

この追悼イベントの目的は、震災でお亡くなりになられた方を鎮魂するとともに、町の方々に全国の皆さんから頂いた絵で元気を届けることです。今年もそれができたと実感しております。また、実行委員会発足時に掲げた“忘れない そして伝える”ことは我々実行委員会の使命です。絵の募集の取り組みはそのものであり、我々実行委員メンバーもそうですが、地元の人たちにとっては毎年多くの絵が届くことで実感することが出来、大きな力となっています。

絵の募集の取り組みは、どこでも誰でもできる震災復興支援です。是非、引き続きのご支援をお願いいたします。

**【写真：追悼イベント当日の様子】** パナソニック仙台工場支援部隊風景



(グラウンドのデザイン部隊墨だし)



(運搬部隊！)



(組立は5人で1, 400基)



(全員で並べる)



(点灯)



以上